

【様式2】

食育月間以外の月の取組

(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	栃木県
取組市町村名	全域
取組の名称	食べて強くなろうプロジェクトの推進
実施時期	平成29年11月～12月
取組内容	<p>1 食べて強くなろうプロジェクトとは</p> <p>子どもたちを対象に、体づくりと密接な関連がある「スポーツ」を通して、子どもたちに親しみやすく食育を推進しています。</p> <p>(1) 食育キャプテン</p> <p>「食の重要性」を子どもたちに直接伝える活動を行っていただくため、県内スポーツチームに、食育キャプテンを委嘱しました。各チームは、スポーツ教室などにおいて「食べて強くなろう！合い言葉」を記したタペストリーを活用し、食育の普及啓発を行っています。</p> <p>食育活動実績：9回（500人）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※平成29年度委嘱したスポーツチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木サッカークラブ ・ リンク栃木ブラックス ・ H. C. 栃木日光アイスバックス ・ 宇都宮ブリッツェン・那須ブラーゼン ・ 栃木ゴールデンプレーブス ・ ホンダ女子ソフトボール部 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>栃木ゴールデンプレーブスが平成29年7月29日(土)に学童野球チーム(3チーム)を対して、食育キャプテン活動を実施しました。</p> <p>当日は、公式戦後に栃木ゴールデンプレーブスの選手が学童野球チームの子どもたちにサイン会を実施し、板倉キャプテン、中村選手、八木選手、帷子選手から食の大切さについての話を伺いました。</p> </div> </div> <p>(2) スポーツ少年団等の指導者研修への専門家の派遣</p> <p>スポーツを行う子どもの保護者や指導者が「食」の大切さを理解し、健全な食生活を実践する動機づけとするため、少年スポーツ団等の行事に、日本体育協会公認スポーツ栄養士※を派遣し研修会を実施しました。（派遣回数：15回・受講者：約1,000人(予定)）</p> <p>※日本体育協会公認スポーツ栄養士とは…スポーツ栄養学の知識を持った管理栄養士で、(公財)日本体育協会と(公社)日本栄養士会の実施する研修を受講後、認定試験に合格して得られる資格。</p> <p>(3) 食べて強くなろう！の合い言葉</p> <p>子どもたちがしっかり食べて強くなるために実践すべきことを「お・に・ぎ・り」の頭文字で表した「合い言葉」を活用し、親しみやすく食育を推進しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>お：おはようしっかり朝ごはん 一日の中で、朝食を食べてからの活動時間が一番長いので、朝食がいちばん大切です。</p> <p>に：にこにこなんでもおいしく食べて いろいろな種類の食べ物を食べれば、しっかりした体をつくり、体調を整えられます。</p> <p>ぎ：逆転できる底力 ごはん（炭水化物）は体のエネルギー源。スタミナ切れにならないよう、しっかり食べましょう。</p> <p>り：理想のプレーでVサイン 食の大切さについて、自分で考え、行動することで、理想に近づくようがんばりましょう。</p> </div>

【様式2】

食育月間以外の月の取組
(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	栃木県
取組市町村名	宇都宮市
取組の名称	学校給食への特別栽培米使用事業
実施時期	7～3月
取組内容	<p>1 事業の目的 宇都宮市内の小中学校の給食米には、通常宇都宮産米を使用しているところですが、本事業を通じて特色のある宇都宮産米を使用することで、児童生徒に市内で様々な種類の米が生産されていることを知ってもらい、地域農業や地産地消による食への関心を高め、これまで以上に学校教育の中での食育を推進することを目的としています。</p> <p>2 使用する米 宇都宮産特別栽培米コシヒカリ(新米) 通常の生産と比べ、使用する農薬と化学肥料の量を半分に減らして生産された米</p> <p>3 実施期間 平成29年11月～12月(2か月間の期間限定) 市の地産地消推進月間であり、新米での提供が可能な時期に実施しました。 昨年度から実施期間を1か月延長し、児童・生徒の地域農業、地産地消へのさらなる理解の促進及び深化を図りました。</p> <p>4 事業実施対象者 市内公立小中学校(93校)のうち、希望した学校(57校)</p> <p>5 使用数量 21トン</p> <p>6 費用負担 事業にかかる経費(通常使用している宇都宮産コシヒカリとの差額等)については、JAうつのみやが負担しています。</p>
	 

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

様式2

提出都道府県名 政令指定都市名	栃木県
取組市町村名	小山市
取組の名称	夏休み親子料理教室
取組内容	<p>夏休みを利用して小学生親子を対象とした料理教室を開催しました。 地産地消・食育の拠点施設である道の駅思川を会場としていることから、料理教室で使用する食材を直売所で購入しています。 地元の食材を知り生きる力を養うことを目的に毎年実施しています。</p> <p>実施日:平成29年7月28日(金)・29日(土)・8月4日(金)・5日(土) 会場:道の駅思川 料理実習室 参加者:小学生と保護者 延べ82名</p> <p>①7月 夏休み親子料理教室。 おやま和牛の巻きおにぎりを作りました。子ども達が率先して肉を焼き、ポテトサラダのポテトをつぶし、丁寧に海苔に巻きました。 大きめの巻き寿司でしたが、残さず食べ、保護者もいつもより沢山食べている子ども達をみて驚いていました。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>②8月 夏休み親子料理教室 夏野菜を使ったキーマカレーを小学生親子と作りました。 茄子が苦手な子が数人いましたが、自分で調理し皆が好きなカレーということで、残さず食べられたことに喜んでいました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

【様式2】

食育月間以外の月の取組

(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	栃木県
取組市町村名	那須塩原市
取組の名称	はじめてのふるさとごはん事業(子育て応援米)の贈呈
実施時期	4月～12月
取組内容	<p>1 趣旨 子どもが成人と同じ硬さの米飯を食べ始められる時期に、本市の安全で安心なお米を家族と一緒に食べることにより、米飯中心の食生活形成のきっかけ作りとし、地産地消の推進及び米の消費拡大と郷土愛の醸成を図ることを目的に実施しています。</p> <p>2 事業概要 (1)対象者 1歳6か月児健康診査対象の子どもがいる世帯 公益社団法人日本栄養士会の資料によると、一般的に成人と同じ硬さのごはんを食べられるようになる時期が1歳半頃からとのことから対象者の年代を設定しました。</p> <p>(2)贈呈する物 那須塩原市産コシヒカリ(特別栽培米)20kg 食味が落ちないように、10kgを2回に分け、宅配で贈呈します。 大人2人、子ども1人当たりの米の年間消費量(推計20kg)と、量を設定しています。</p>